

南海高野線連続立体交差事業について

○ 事業目的・効果

道路と鉄道との交差点である踏切では慢性的な渋滞が発生していることから連続立体交差化を行い、踏切に起因する交通渋滞の抜本的解消をめざす。

堺東地区は、政令指定都市の玄関口にふさわしい市街地の形成をめざしつつ、連続立体交差事業を推進させることにより、市全域の発展に寄与する。また浅香山地区は連続立体交差事業とあわせて、駅前交通広場などの都市基盤整備を進めることにより、地域の発展に寄与する。

○ 事業概要

- ・平成 21 年 4 月 新規着工準備採択の取得
- ・南海高野線の浅香山駅～堺東駅付近の連続立体交差化(約3km)
- ・踏切10か所(うち開かずの踏切2か所、ボトルネック踏切2か所)の除却
- ・概算事業費：約500億円(高架・ラーメン構造)
- ・連続立体交差化される駅：浅香山駅、堺東駅

※ 開かずの踏切：ピーク時の遮断時間 40分以上

ボトルネック踏切：自動車、自転車及び歩行者の踏切交通遮断量が5万台(人)時/日以上

○ 事業化に向けての流れ（フロー）

